

# 総合日本文化研究実践教育プロジェクト

## －学生企画委員事業実施要領－

平成 20 年 5 月 16 日  
文化科学研究科専攻長会議承認

本要領は、文化科学研究科「総合日本文化研究実践教育プロジェクト」における学生企画委員事業の事業実施及び事業経費の執行に関して必要な事項を定める。

(事業の取扱い)

- 1 「総合日本文化研究実践教育プロジェクト」の各種事業を推進するために、本研究科の専攻に学生企画委員を配置する。

(対象者)

- 2 学生企画委員の対象者は、本研究科の専攻の学生（休学者又は留学期間中の者を除く。）であって、学生の所属専攻を置く基盤機関においてリサーチアシスタント又はティーチングアシスタントとして雇用されている者とする。

(学生企画委員の業務)

- 3 学生企画委員は、リサーチアシスタント又はティーチングアシスタントとして雇用する基盤機関が定めた業務を遂行するもののほか、本プロジェクトの事業を推進するとともに、所属する専攻の専攻長の指導又は助言を得て、学生の研究活動等に対する研究的又は教育的支援に係る次の各号に掲げる業務を行う。
  - (1) 学生が所属する専攻以外の専攻を置く基盤機関の研究環境を活用するとき、当該学生の研究計画作成等の相談又は助言、並びに当該基盤機関における研究活動等の支援を行う業務
  - (2) 学生が所属する専攻が実施する中間論文報告会又は博士論文公開審査会、もしくは当該専攻を置く基盤機関が実施する研究会その他の事業に係る情報収集又は学生周知等支援業務
  - (3) 文科学術フォーラムの企画・運営に関する業務
  - (4) 本研究科の専攻の教員及び学生の最新研究活動情報に係るコンテンツ制作支援業務その他 e-learning 配受信等に係る研究的又は教育的支援業務
  - (5) 前各号に掲げるもののほか、事業遂行により学生の研究能力又は教育能力の開発、育成に資すると専攻長が認めた業務

(学生企画委員に係る雇用経費の送金額算定基準)

- 4 学生企画委員に係る雇用経費の送金額算定基準は、学生の年間授業料相当額を目安とし、リサーチアシスタント又はティーチングアシスタントとして雇用する基盤機関が定めた 1 時間当たりの給与単価を基準として本研究科が別に定める。

(学生企画委員に係る雇用経費の送金処理)

- 5 事務局は、本研究科が別に定めるところにより、学生企画委員に係る雇用経費を当該専攻を置く基盤機関に送金するものとする。

(学生企画委員に係る謝金及び旅費について)

6 前各項に定めるもののほか、本事業の実施に際し必要があると研究科長が認めた場合、学生企画委員に対し謝金及び旅費を支給できるものとする。

(2)前号に定める謝金及び旅費の支給に関する事務は、基盤総括事務室で処理する。

附則

本要領は、平成 20 年 5 月 16 日から施行する。